

**名古屋市歴史的風致維持向上計画（第２期）（案）に対する
市民意見の内容及び市の考え方**

令和６年 ３月

名 古 屋 市

名古屋市歴史的風致維持向上計画（第2期）（案）パブリックコメント実施結果

「名古屋市歴史的風致維持向上計画（第2期）（案）」に対し、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。いただきましたご意見の概要と、それに対する市の考え方を公表します。

なお、ご意見の内容は原文を一部要約するとともに、項目別に分類して掲載していますのでご了承ください。

1 実施期間

令和5年12月26日（火）から令和6年1月26日（金）まで（31日間）

2 提出状況

(1) 意見提出者数 5名

(2) 意見総数 9件

提出方法	持参	郵送	ファックス	電子メール	合計
人数	0名	1名	1名	3名	5名
件数	0件	1件	1件	7件	9件

3 意見の内訳

項目		意見数
1	計画全体	1件
2	各章	
	2章 維持向上すべき歴史的風致	1件
	3章 歴史的風致の維持及び向上に関する方針	5件
3	その他	2件
合計		9件

1 計画全体

全体について（1件）

○風致は、自然の風景などの持つ趣や味わいのことと思うので、風致地区となると、都市計画法で定められた都市の自然景観を維持すべき地域区域とを感じる。しかしながら、この資料はそういう観点に立った感じがせず、まず歴史から始まり、不要と思える資料が多過ぎるようにみえる。計画をざっくり分類して、結論からそれを説明する資料作りをして欲しいと思う。

【市の考え方】

歴史的風致維持向上計画は、歴史的な建造物に加え、そこに残る歴史と伝統を反映した人々の生活が一体となって醸し出す地域固有の風情、情緒、たたずまいを維持・向上させることを目的としております。

また当該計画において記載すべき事項については、国の定める「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」の運用指針に基づいて記載しております。

読み手の理解しやすい資料づくりについては、今後の参考とさせていただきます。

2 章 維持向上すべき歴史的風致（1 件）

○計画を見て愕然としました。それは、自らの参加する歴史的風致維持向上ではないと思えたからです。町内会活動、子供会活動、老人会活動等、やり手不足で立ち行かない状況を耳にしています。街中の小さな祭りを通して、地域の繋がりが広がるものと信じています。小さな歴史的風致にも目を耳を傾けていただけたら幸いです。

【市の考え方】

本計画は、歴史的建造物と人々の営みが重なり合う部分について調査を行い本市の歴史的特徴を形づくっているものを「維持向上すべき歴史的風致」として6項目に整理したところです。ご意見のとおり、本市には各地域に貴重な歴史的資源が数多く存在しておりますが、これら歴史的風致のすべてを計画に記載していくことは困難であることから、一定の整理をさせていただいております。

本計画に記載されていない、歴史的な建造物や営みについても幅広く本市の歴史的資産と捉えるとともに、関係各所と連携しながら、市内全域において様々な取り組みを実施してまいります。

3 章 歴史的風致の維持及び向上に関する方針（5 件）

○名古屋城跡保存活用に関して、何よりも石垣の保全・修復が最優先課題ではないでしょうか。観光客を増やすことを考えるのであれば、天守の木造再建にこだわる必要はないと思います。

○名古屋城天守の木造復元は、旧国宝第 1 号指定を受けながら、昭和 20 年の戦災により焼失した事を惜しむ余り、その後に再建された現天守の価値を見逃しています。市民の募金により再建された現天守は、それ自体立派な歴史をもち、文化財としての価値を主張しています。文化財とは、国や県市などの指定を受けていなくても、保護されるべきものであり、それが文化財保護法の本質であります。ですから、現天守を取り壊すなど言語道断です。また、文化財である現天守を取り壊して、忠実に復元した木造天守を建造したとしても文化財ではありません。それは焼失した天守ではないのです。

【市の考え方】

特別史跡名古屋城跡は、本市の特徴的な歴史的風致を形成する歴史的資産の 1 つであり、本計画においても様々な視点からその方針を記載しております。

平成 30 年に策定した「特別史跡名古屋城跡保存活用計画」に基づき、名古屋城の歴史を物語る広大な石垣の調査・修復整備や、天守閣・本丸御殿の整備等による往時の名古屋城本丸を実感させる場の創出、二之丸全体の整備等による往時の名古屋城の全体像の再生、名古屋城総合事務所の調査研究体制強化について重点的に取り組み、近世城郭の姿を現代に伝える特別史跡名古屋城跡の価値の確実な継承と魅力の最大限の向上に努め、世界に誇れる日本一の近世城郭を目指してまいります。

○熱田神宮近辺は、現在でも多くの人が訪れていますが、熱田商店街は閉店も多く、崩落しそうな建物も見受けられます。商店街、近隣町内会等の意見も踏まえて刷新を図る必要があると思います。

【市の考え方】

熱田神宮駅前商店街を含む熱田区役所南地区については、商店街や近隣町内会のご意見も踏まえながら開発の事業化に向けた検討を進めてまいります。

○有松伝統的建造物群保存地区防災計画が令和４年に策定され、現在は歴史的建造物活用事業者支援に重点を移しているようにみえます。しかし、防災計画は絵に描いた餅になっているように思われます。能登地方に発生した地震と引き続き起こった火災により、壊滅的な被害を受けました。輪島市黒島地区の重要伝統的建造物群保存地区の木造家屋もかなり倒壊しています。有松の防災計画が実施されないのはなぜなのか見直した上で、早急に対策を実施することが、歴史的風致の維持のためにも必要と思います。

【市の考え方】

有松地区は、伝統的建造物群保存地区として歴史的な町並みを将来にわたって保存・継承することにより、市民の共有財産として歴史的・文化的・景観的に寄与する一方で、歴史的な町並み特有の伝統工法による木造建築物等が、一定のエリア内に密集することから、火災や地震等の災害に対する防災性の向上が課題となっております。

今後も、地区住民の皆さまとも協力しながら、令和６年１月に発生した能登半島地震の被害状況や教訓についてもふまえた上で、有松伝統的建造物群保存地区防災計画に基づき、具体的な防火対策や耐震対策の取り組みを推進してまいりたいと考えております。

○断夫山古墳は市内では大きな古墳ですが、近くにこの古墳にまつわる資料館などがありますか。小さな古墳でも出土品、出土品との関わりのあるものが忘れ去られることのないように取り組んで頂きたいです。出土品をその土地で展示するだけでなく、近くの神社仏閣、土地との関わりも知りたいです。

【市の考え方】

市内の古墳から出土した埴輪や須恵器は、体感！しだみ古墳群ミュージアム（守山区）や見晴台考古資料館（南区）等で展示しております。教育委員会では、古墳を始めとする文化財をめぐるウォーキングマップを製作するなど、広くまちの中に残る文化財を知っていただくための取り組みを続けてまいります。

3 その他（2件）

- 中村公園や荒子観音が取り上げられているが、移動方法や経路も考えて欲しいと思う。
歩きを想定するなら中村区や中川区など、各区で作られている散策路との連携をとって欲しいと思う。
- 健康・環境を考えると自転車が良い。車の排気ガスから歴史的遺産を守ることできる。そのため、できれば自転車移動経路・サイクリングロードを整備して欲しい。

【市の考え方】

いただいたご意見について、歴史的風致の維持向上のための今後の参考にさせていただきます。